

# 「そうだ 京都へ行こう。スティック滞在記」

2012/01/06-08

<ストーリー>

年が明けて正月も無事終わり、成人式を控えた3日前。私はやや暇と感じながら家にいた。昼前に障子の張替えをやらされて、終わってからふと3日間どっか行けるんじゃないか？と思い始めた。(中略) 気がついたら夜京都の地を踏んでいた。

<行程>

1日目：家～水戸—651系スーパーひたち—東京—300系ひかり—名古屋—500系のぞみ—京都 ゲストハウスとまと泊

2日目：宿—東寺—平安神宮—下鴨神社—八坂神社—18きっぷ購入—南禅寺—京大食—二条城—清水寺—宿

3日目：京都 6:55— 約12時間乗りっぱなし —水戸 18:40～家

## 1日目

昼過ぎに水戸駅に着いた。1年半ぶりに12月に帰ってから何度か来ているが、南口の変わりようが凄いなあ。正規運賃(笑)で京都までのチケットを購入し、ストレートにスーパーひたちに乗車。

この車両に乗るのも最後になるだろう。新型車両が導入されれば一気に廃車になってしまう。



←定期列車唯一の停電(とりで一ふじしろ)

また、水戸から上野まではノンストップということで気持ちよかった。68分！

家の近い柏を通り、なんか変な感覚になり、あっという間に上野に到着。東京に着いた。

そういえば冬休み初頭に私が行った病院がちょうど東京八重洲口。高速バスで茨城に急行したのもここ。新幹線からよく見えて不思議な感覚となった。

ちなみに、新幹線はどれが300系かわからなかったの、ホームに上がって探すという、すごい適当な方式を採用した。そしたら19番線に・・・お？窓でかくね？300系きた！！



ちなみに300系に乗るのは数えたら4回目だった。最初が名古屋に行ったとき、あとの2回は修学旅行。なぜか往路はグリーン車に乗れて、体育の先生が羨ましがってた記憶がある。でもグリーンなら500系か700系が良

かったかもw



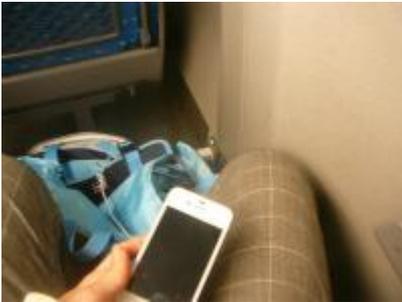
やっばおなじみの富士山！富士川沿いにはカメラを構える同業者？が。

ひかり 477号は新横浜を出ると三島、静岡、浜松、とたくさん止まっていった。一区間ですぐ降りる人が多く、隣の席が3人くらい合計で座ったことになり、驚いた。

特筆すべきことはないが、こうやって気楽に新幹線に乗っちゃうのも楽しいなと思った。日頃旅行のために貯蓄してるから少しくらいの損失は気にしない。投資投資w

浜松を過ぎてからの急カーブでカメラがテーブルから落ちそうになったことくらいか。

列車は無事名古屋に着き、せっかくだから乗り比べ！と、2分位後のN700系のぞみに乗車。



電池の減りの激しさで定評のあるiPhoneの栄養補給。

名古屋を過ぎるとあたりは暗くなった。しかしなんか白い。・・・雪がかなり積もっているようだ。ちょうどこの区間は本州の「くびれ」にあたる。帰りが楽しみだ。

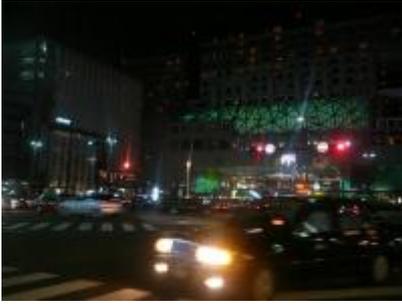
ひかり+乗り継ぎということで京都に着いたころには結構疲れていた(笑)

でも、朝は日常モードだったから京都に着いたときは感慨深さでいっぱいだった。思い立ったら吉日！！良い一年になるにきまっている。

宿は昼過ぎに自宅で予約した「ゲストハウスとまと」へ。プチ迷子になって20分くらいロスした(苦笑)にしても寒かったなあ。ゲストハウスは初めてだったが、凄いアットホームで旅先とは思えない落ち着きがあった。安心した。



相部屋個室。初日は1人だった。コンセント使えばよかったw



夜の京都駅。金券ショップしまるの早すぎ。

そういえばゲストハウスにはこたつやテレビがある共有ルームなるものがあり、緊張しながら入ってみると、意外に仲良くなれた。というか先客の人がフレンドリーで、いろいろ京都の話とか旅の話をした。さすが京都、もちろん外国人もいる。

## 2日目

先客の人の「1日しかないんだったら効率よく回ったほうがいい」というアドバイスを字面どおり受け入れ、朝6時起床、6時半に出発した（苦笑）



東寺（とうじ） 5時半開門・無料と良心的

最初が一番近い東寺へ。五重塔でおなじみのところである。とりあえず私は寺院系にまったく興味なかったの、頑張って雰囲気だけを感じ取った。

JR東海のCMソングが自動的に脳内再生された。この現象はこの日ずっと私を襲い続けることとなることは言うまでもあるまい（？）

続いて平安神宮へ。（開門時間など一切調べてこなかったが、 아이폰ですぐ調べられてかなり便利だった。でも電池の減りも比例して速い。。）



平安神宮

9時くらいになると多くの神社系が開門する。無料の下鴨神社、南禅寺、八坂神社（祇園祭りでおなじみ？）に寄った。



おむつしろって？

そういえば疏水記念館なるものがあった。おそらく導水と同じようなものだろう。

正直細かい資料とかは一切興味ない（あ）ので、「琵琶湖の水を引いたおかげで文明（京都）が発展した」と結論付けてすぐ出た。いい水あるところに都市ができる！



いとをかし。あ、またCMソングが・・・



大丸多すぎw 八坂神社にて

とりあえず悔いのないようにと、午前中は頑張って寺・神社めぐりをした。

昼前に繁華街四条河原町の金券ショップで帰りの18きっぷを3300円で購入。1回分だけだから十分お得に買った！（乗車券オンリー：9350円くらいだし）

お昼は安くて量がそこそこあって…あ、そうだ学食に行こう。ということで京大の学食へ。クオリティ的にも良さげなレビューがあったからだ。 아이폰様様である。。

結局お腹がすぎ過ぎて（実家に帰ってからたくさん食べ物が与えられて、やや大食いになっちゃった）600円近く頼んでしまった。ご飯のLが多すぎて結局ご飯だけ食べるハメに。

午後は疲れもありスローモード。宿近くの世界遺産（！）西本願寺へ。



東日本大震災に支援してくれてありがとう。。

ここは世界遺産の中でも良心的なほうで、なんと無料拝観が可能。

仁和寺とか銀閣寺は有名どころだからか、600円とか平気でとる、世界遺産にして恥ずべきメンタリティを持つ。だから行かない。修学旅行で行ったからまた行きたくないしw

しかもおまけにお茶のサービスもあった。館内?には人権運動の大本です的な展示があった。浄土真宗は頑張ってるなあと珍しく宗教に感心した。某宗教の勧誘とか来るとミンチにしたくなるものだが。

その後は二条城へ。そこで疲れがたまりすぎたせいか頭痛が発生。

嵐山方面に行くにも途中で「京都市内バス乗り放題カード 500円」の適用範囲外になることがわかって下車。近くに電車っぽいのを見つけて乗ってみる。

ら い で ん (嵐電) ! ?

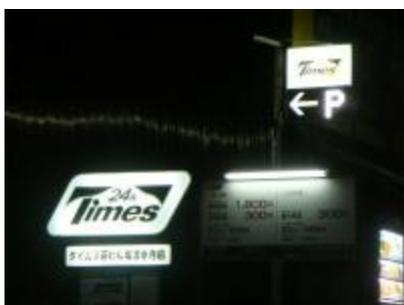


線路幅がかなり広い。

東の都電、西の嵐電だろうか(大げさ) ちょっとだけ乗ってみた。

非常に古めかしい、京都下町独特のムードが反映されていて面白かった。終着駅北野白梅町はちょっと江ノ電の藤沢駅に似ていたかな。

それからはパンをかじったり宿に戻ったりで夕方までのんびりした。



白黒加工はしていない。さすが京都。蔓延っているローソンの看板も黒い。



やっぱ夜は夜景でしょ！

やっぱ最後は夜景…清水寺に限ると思い、料金を調べて 300 円だから行こう！ということで行ってみた。五条坂だか茶碗坂が筋肉痛の足をさらに攻撃してくる（笑）

夕飯は・・・学食に行く気力がなくなったため すき家 へ。

京都市内随一の繁華街、四条河原町に向かい、錦市場など一通り散策。あ、やっぱ物価高いんだ。（自分がけちなだけ？）だめだw ということで素直に大通りへ。



昼も夜も盛り上がってる。金券ショップにはここだ！

宿に戻り、ロングステイの同じ先客の人といろいろしゃべり、相部屋の人に「いびきをかきます」と忠告して無事京都の1日が終わった・・・（余談。なんか話しかけにくい雰囲気の人の方がいたが、この日は中国語をしゃべっていて、台湾人とわかった。台湾人は美人って聞くけど、気が強いんだなあー 男のほうが弱いらしい。やっぱ日本人の女性で頑張るか。。）

## 3 日目

この日は帰るだけ！ 罪悪感ではないけれど疲労からか、さっさと家に帰りたかった。

6：55に京都を発つ。さらば京都！またくるぞ！



京都→米原！

隣に座ってる若者（自分もだが？w）が新成人代表の原稿みたいなのを持っていて、ああー成人式今日なんだなあと実感。そして明日の成人式がぼっちになるんじゃないかと不安になっていく。基本的に親に承認されてこなかったから、人にも承認されてるかおびえるのである。



琵琶湖沿いは日本海性気候気味。雪がすさまじい。

まるで新潟に来てしまったかのような感覚にさえなかった。彦根とか雪積もりすぎ…。

雪のばらつく米原で乗り換え。新幹線が凄い勢いで通過していくわ、18 きっぱ一っぼいのがいっぱいいるわで疲れた。どうせ 313 系かと思っていたら・・・



初めての 117 系！車内化粧版が重厚！！

迷列車シリーズで見て依頼の 117 系であったw

列車は雪の中峠越え。本線が通るとは思えないような険しいところを走って行ってびっくりした。それでも山奥にカメラを構えて撮る同業者たちがいてもっとびっくり。



大垣→豊橋（2 時間？）は 313 系。

凄い長かったこの区間。太陽がまぶしく、ぼかぼかして少し寝た。倦怠感が増加したから寝るのをやめた。新快速なのになぜか三河大塚に停車。後々調べたらショッピングモールみたいなのがあったのね。



豊橋→浜松。311 系？ 通路側+窓ブラインドおりていて退屈

いよいよ今日の峠、静岡県に突入した。

関東～関西の移動には静岡県は避けて通れないといっても過言でなく、静岡を制するものはこの大移動を制す

るといっても過言ではない。(?)

浜松直前には弁天島など綺麗な眺望スポットがあるがまったく見えずショック。  
人に対して執拗に話しかけるメンヘラお婆さんが近くに乗っていて危なかった。



浜松→静岡→富士→熱海 211系。おなじみだがやけに短い編成。

おなじみのロングシートで車窓も見れないし何より長い。

静岡地獄であった……。 といえばここでも新成人っぽい人を何人か見かけ、また翌日の成人式が不安になった。(結果については最後に)

静岡までくれば、一度18きっぷで帰ったことがあるのでへっちゃらと考えていた。

東田子の浦……。サークルの春合宿初日の思い出の地(ちょうど3.11で動けなくなった。初日なのに)



いよいよ関東に帰還!! E231系はおなじみのおなじみだ。

いよいよ熱海まで来れて、安心感が戻ってきた。あとすこしだ……。にしてもかなり揺れた。

この車両はいすも硬いし、乗り心地も悪い……。相当節約して作ったんだろうな(笑)

と、新型車両が良いとは限らないと改めて実感。

横浜で横浜線に乗り換え、八王子へ。

茨城に帰るのに西に行くなんて馬鹿じゃないの?死ね!と思うかもしれないが、ちょうどこの日は臨時快速「新春ぶらり高尾号」が走っていたのである。

ジョルダンの乗り換え案内で表示されてびっくり。



記念すべきラストは485系K60編成。



シートも良く床上げされてて快適の2文字。

運よく時間が合ったので本当にうれしかった。

武蔵野線を疾走していく。途中の新座あたりで立教大受験を思い出す。

東浦和かどっかの運転停車でのホームにいる人々の怪訝な視線。鮮やかによみがえる。

列車は柏を出て（家が近い…）1時間ちょいで水戸に帰ってきた。にしても特急+20分くらいは優秀なほうだ  
と思うのである。

1日目は新幹線、2日目は京都観光、3日目は1日中乗りっぱなしというストイックな日程だったが、無事幕  
を閉じた。衝動的な行動は不幸をもたらすというが十分な自信もあったため成功したといえるだろう。非常に良  
い経験となった。でも海外に備えてバイトで貯めなくちゃな…。

## 余談 翌日の話

この旅行記には成人式ネタが2回くらい出てきていた気がするが、せっかくだからそのことも書こうと思う。

私は成人式で「あなただれ？」状態が続き、ぼっちになることを予想していた。

しかし、それは受付で同じクラスだった女子に会って一気に安心した。

なんだかんだで中学時代の友達が変わってもなく、今の仕事や大学とかそういう話で盛り上がった。

その後は小学校でタイムカプセル。私の学校は学年2クラスだったが、両方とも担任がきて感動！

私の担任はハゲ上がってたw 隣のクラスの担任は現在64歳らしく、それでも児童みんなの名前や思い出を  
覚えていて頭が下がるばかりだった。

みんなも変わってなかったなあー8年近くの歳月を諸ともしない。でも1人だけ変わりすぎて誰？って人が  
いた。

幼稚園からの旧友とカラオケに行っ、夕方から水戸で同窓会。立食パーティー。担任みんな元気だった。

春休みに遊ぶのが楽しみだ～